

巻 頭 言

日本雪氷学会北海道支部は昭和34年5月18日に設立されました。その経緯や背景については、別記「30周年を迎えた雪氷学会支部」に記した通りであります。以来、産官学の関係各位の温かい御理解と御支援のもとに活動を拡げて参りましたが、本年、創立30周年を迎えることができました。これひとえに関係の皆様のお蔭と、深く感謝している次第であります。

この大きな節目にあたり、新たな視点から雪氷研究の将来を展望すべく記念事業を企画し、その賛助をお願い致しましたところ、関係の方々から温かい御理解と多大の御支援を賜わりまして真に有難く、感激致している次第であります。

本記念事業の柱のひとつとして、去る6月13日、北海道大学学術交流会館において記念式典、記念講演会、記念写真展を、又、同日夕刻には同クラーク会館にて記念祝賀会を開催致しましたところ、御多用中、遠路、大勢の方々の御来駕を賜わり、来賓の方々よりは御丁寧なる祝辞、心あたたまる激励のお言葉を頂戴し、また、記念講演では大へん有益、かつ、ユーモアと示唆に富んだお話をいただきました。ここに心からの御礼を申し上げます。

今回、30周年の機会に、長い間、支部長等として御活躍下された方々に感謝状を贈呈させていただきました。又、本誌に掲載しました支部年表を見てもわかりますように、創立以来30年の歴史の中で支部のために御盡力下された大勢の方々に、更めて深甚の謝意を表するものであります。

記念祝賀会におきましても産官学の大勢の方々の御出席をいただき、ここでもいろいろと励ましのお言葉をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

こうして、記念式典、祝賀会は、お蔭様をもちまして盛会裡に終了することができました。しかしながら、30周年記念事業は、まだ完結したわけではありません。本記念誌の発行に引き続き、もうひとつの柱である「雪氷調査法」の執筆、編集が、来年秋の出版を目途に目下進捗中であります。出版の暁には御協力いただいた各位にお配りする予定ですが、今しばらくお待ちいただきたく存じます。

今回の式典、祝賀会を通じて、本支部が雪氷研究、雪氷災害防除、雪氷の積極利用等において、社会から益々強く期待されていることを肌で感じました。さらに、近年の気候変動における雪氷圏の役割りの研究も大きな課題であります。これらの研究を通じて、本道はもとより、広く雪国全体、さらには北方圏諸国、ひいては全地球に貢献する責務を有するものと痛感する次第であります。

終りに、御協力いただきました関係各位の御厚情に重ねて感謝申し上げますと共に、今後ともなお一層の御指導、御鞭撻をお願い致す次第であります。

日本雪氷学会北海道支部長
若濱 五郎